



パインの収穫を体験する西原南小の児童たち＝14日午後、西表島東部のパイラントファーム

パイン収穫を体験

本島の児童ら離島体験

西表島

【西表東部】本島の児童たちに離島のことを理解してもらう県の離島体験交流促進事業が13日から2泊3日で西表島で始まり、本島から169人の児童が来島。西原南小学校の5年生55人が東部、西原小学校の5年生114人が西部に派遣され、パインの収穫や農業体験、島の子もたちとの交流など多彩なプログラムを楽しんでいる。

高めてもらうことに、地域住民や地元小学生との交流を図るのを目的に2011年度からスタートした。本年度は本島25校の58クラス約1898人を14万所の離島市町村に派遣する。石垣市には7月に南城市の大里南小学校の5年生136人、与那国町には11月に糸満市の糸満南小学校の5年生70人が派遣される予定。

西原南小は14日、西表島東部のパイラントファームでパインの収穫体験や施設見学、仲間川でカヌー体験などを楽しんだ。

パインの収穫体験をした関根誠君(5年)は「最初は難しかったけど、上手に刈り取れた時はうれしかった」、上江洲聖瑠さん(同)は「船やバスには酔ったけれど、イリオモテヤマネコや西表島の自然を知ることができた。もう一度来たい」と話していた。

夜は、地元の子とも会って交流を深めた。

パイラントファーム＝14日

ンが今月下旬、マンガは7月初旬とみられている。

間の日程で、石垣市民で課題曲を熱唱した

移動献血に協力を

目標達成に厳しい状況

先月28日から始まった2012年度第1回移動献血の採血実績が伸び悩んでいる。

県内の慢性的な輸血用血液不足から、石垣市では献血期間を10日間延ばし年間目標人数も

5000人増やすなど取り組みを行っているが、移動献血3週目に入り、あ



県民会館の客席が始まった第20回八重山土曲大会